

2025 年度 第 12 回理事会次第

2026 年 3 月 12 日（木）19 時 30 分、WEB 上にて理事会を開催した。

定刻に、副会長 平田樹伸氏が議長席につき、本会は有効に成立した旨を告げて議案の審議に入った。

理事総数	28 名
本日の出席理事数	21 名
監事総数	2 名
本日の出席監事数	1 名

■日 時 : 2026 年 3 月 12 日（木） 19 時 30 分～

■場 所 : オンライン会議

■定足数 : 理事 28 名のため、15 名で過半数以上

■出席役員 : 会長) 宇田英幸 副会長) 平田樹伸 理事) 赤間公一、犬塚功一、江原友樹、大橋幸子、岡部拓大、押野修司、北村ミチル、桑原陽子、小池祐士、神山真美、阪井之哉、鈴木香織、高橋啓吾、種沢浩平、近森貴裕、内藤大佑、原裕如、藤田真弓、丸達也
監事) 西田典史

■委任役員 : 副会長) 伊藤伸、理事) 加藤恒平、佐々木竜也、渡部慶和、館岡周平、吉田朋子

■欠席役員 : 理事) 鈴木康子、監事) 岡田洋一

■他出席 : 法人管理部) 嘉成望

■他欠席 :

敬称略

■議 題 :

I. 審議・検討事項【発案者：敬称略】

第 1 号議案 2025 年度 第 11 回 理事会議事録について【法人管理部：嘉成】（資料 1）

・内容を確認し、一部修正を行った。

*満場一致で可決された。

第 2 号議案 2026 年度予算案（一次検討）【財務部：北村】（資料 2）

・全部局の予算案を提出いただき、内容を調整している。

・通帳を使っていない部局も増えてきているので、通帳使用を減らさせて頂いている。

・雑費を計上しているものは削除、事業計画をもとに会議費などを確認した。

⇒今回の提示データは、数字も変更しているので、提出した元データを確認して再度検討して欲しい。

⇒費目の判断は、事務の伊藤さんの方で調整しているため、費目を知りたい場合は、北村理事に一度連絡をして、まとめて事務の伊藤さんに確認することとする。

※各部局で、増減確認し、北村理事に連絡をすることを確認した。

・現時点で支出合計 1868 万円程度となっている。一次検討として、満場一致で可決された。

*確定まで、継続審議とする。

第3号議案 埼玉県作業療法学会における査読回答方法の電子化について【学術・学会支援：押野・小池】（資料3）

- ・査読回答方法の電子化したことに伴い、審議前ではあるが、査読の電子化、規程の文言を変更・修正している。内容について審議して欲しい。
- ・今までは査読のスコアリングシートをメールで返信する仕組みだったが、Google フォームでの回答方法へ変更したい。それに伴い、埼玉県作業療法学会査読規程も改定する。
- ・規程は、理事会承認で可能であるため、変更した際には、「附則」の日時を変更する必要がある。
- ・規程の管理は、法人事務局で行っているため、データを大橋理事に提出することとする。

*査読回答方法の電子化に関して、満場一致で可決された。

*附則の日時は、2026年3月12日付けで改定とする。

第4号議案 会場（目白大学）費減免に伴う目白大学大学院生参加費の取扱いについて【学術部：小池】（資料4）

- ・目白大学にて埼玉県作業療法学会開催するが、会場費が60万円かかる。所定の条件を満たすことで、最大95%（約3万円）会場費が減免できる。減免条件の検討をして欲しい。
 - A) 目白大学院生のみ参加費減免（最大6名）
 - B) 大学院生一律参加免除…目白大学としては、無所属への配慮することは許可されるのか？
 - C) 目白大学大学院生・その他大学院生一律免除なし
 - D) この条件を満たさない場合減免率は50%となり、会場費として約30万円程度の負担が生じる見込みである。

・条件を確認し、審議検討がなされた。

⇒目白大学の条件の詳細確認をしないとイケないのでは？

⇒次年度以降も含めて確認が必要なのではないか？

⇒埼玉県士会員ではない人も0円でよいのか？

⇒前回大会の確認をした方がよいのでは？

⇒A) になった場合、オープンにするのか？…公にせず、目白の先生から個別に連絡をする方がよい。

⇒B) C) にした場合、次回以降をどう考えるのか？…次年度以降の懸念につながる

⇒目白大学としては、公開にすることを確認していない。

⇒目白大だけになる理由を説明するならよいのでは？

⇒明示をすることや説明可能な状況で実施した方がよいのでは？

⇒帝京平成大学を使用したときも同じ事案で、対応した経験がある。

⇒学生証提示に応じられない学生もいて、受付に不具合がある可能となる。

⇒「会場費を安く」を目的にして、A) で実施していくのがよいのでは？

⇒「埼玉らしさ」という考えもよいのでは？ストレス作戦でよいのでは？

⇒大学院生が参加しなくても減免されるのか？

⇒申請書類上で「目白大学大学院生の参加者は免除する」とするのがよいのではないか？

⇒目白大学の事務に明確に確認してもらい、規程も熟読していく必要がある。

*不確かな内容があり、確認が必要なため、確認後、メール審議とする。

第5号議案 2026年度事業計画案について【総務部：丸】（資料5）

- ・未提出の内容も反映し、2026年度の事業計画を作成した。会長からのコメントを付けて完成となる。
- ・変更・修正箇所は以下の2点である。
 - ① 前回審議の文面については、財務部と広報と相談の結果、総務部の8. 9に文言を追加することとなった。
 - ② MTDLP：地域包括ケア推進委員会→推進部に修正。

*全部局から提出がされた段階で、最終確認を宇田会長に依頼する。

*内容を確認し、満場一致で可決された。

II. 報告・確認事項

1. 各部局活動報告

- 1) 事務局長：大橋事務局長より以下の報告があった。
法人管理部に統合させて頂く。
- 2) 法人管理部：大橋事務局長より以下の報告があった。
3月9日：埼玉県リハビリテーション専門職協会理事会出席。
総会の際の議長団をブロック長に選出いただき、内諾を取って頂きたい。
2025年度事業報告の依頼もBANDを使用して行っていく。
- 3) 総務部：丸理事より以下の報告があった。
総会会議室6月21日807会議室で予約をした。
- 4) 財務部：北村理事より以下の報告があった。
予算案編成にご協力ありがとうございます。繰越金還元策については、年度当初から予算に計上せず、出てきた案件を、都度、理事会やプロジェクトチームで検討具体化し予算化していく形をとりたい。引き続きよろしく願いいたします。
- 5) 学術部・編集委員会：押野理事より以下の報告があった。
編集委員会：特に報告事項なし。
学会査読：査読委員に2026年2月1日～2028年3月31日の査読者登録の打診を行った。
結果、31名の方から承諾をいただいた（内、新規14名）。
1月29日に委嘱状及び依頼文書を事務部より発送した。
研修会：申込156名（スタッフ3名含）：県士会員108名・県士会外47名、経験年数2～7年がの若手層が多い。領域は身障、老年、地域が中心である。地域は埼玉県を中心に関東一円と佐賀県、福岡県、兵庫県からの参加者もあり全国規模の参加者となっている。
参加者が非常に多い状況であるが、未納者もいるため連絡を入れている状況である。
- 6) 学会支援委員会：小池理事より以下の報告があった。
演題募集期間延長（～2026年3月1日まで）
現在：41件 エントリーサポート：6件 査読開始。
第35回埼玉県作業療法学会 開催日：2026年7月12日（日）
会場：目白大学 学会長：花房謙一（目白大学）

- 7) 教育部：鈴木香織理事より以下の報告があった。
2025年度の各部局で活動した部員に対して、士会裁量ポイントを付与予定としている。
*士会裁量ポイント：2ポイント付与
研修会のポイント付与の申請シートが2025年8月から変更になっているため、確認して申請して頂きたい。また、講師ポイント付与の申請も併せて条件確認して実施して頂きたい。
研修会の日時が重なっていることが増えている。ルールとして日時が重ならないように注意してください。
- 8) 生涯教育委員会：鈴木香織理事より以下の報告があった。
現職者共通研修の開催準備を進めている。
【共通研修】
3月27日(金) 事例報告・事例検討
*2024年までに入会者の対応が、2026年度いっぱいであるため確認をして頂きたい。
- 9) 養成教育委員会：岡部理事より報告事項なし。
- 10) 職能開発事業部：藤田理事より以下の報告があった。
一般社団法人 日本脳卒中医療ケア従事者連合 (SCPA-Japan) 埼玉支部の作業療法士窓口としての報告事項
【その1】
3月3日(火)16:00-17:00 (オンライン開催)「仕事と治療の両立支援に関する勉強会」
—復職支援・就労支援の専門家から学ぶ実践的アプローチ—
講師 埼玉産業保健総合支援センター村田奈緒美様
講師 所沢公共職業安定所山下和美様
参加者 藤田真弓
総括:橋渡し的な業務を担うが、まだ対応件数はごく限られている状況
【その2】
3月6日(金)18:30-20:30 災害リハビリテーション支援体制構築のための協議に参加
場所 圏央所沢病院
講師 埼玉県福祉部地域包括ケア課
講師 埼玉 JRAT から埼玉県作業療法士会阪井氏
内容 埼玉県における災害リハ支援体制は地域リハ支援活動のかかわりを活かし、災害時にはそのネットワークを中心に支援にあたることを検討している。今後協力医療機関として災害時の協力機関として指定される。
参加者 藤田真弓
- 埼玉県脳卒中・心臓病その他の循環器病対策推進協議会 委員としての連絡事項(埼玉県保健医療部疾病対策課所轄)は報告事項なし
- 11) 広報部：近森理事より以下の報告があった。
レターパック作戦に向け準備を行っている。県士会入会パンフレットの内容の更新のため、養成校の先生方に確認を依頼している。広報誌「彩り」特別版の内容選定も行っている。

- 12) 地域リハ推進部：館岡理事より報告事項なし。
- 13) 地域包括ケア推進部：平田理事より以下の報告があった。
地域事業会議参加してきた。協会の研修システムで、基礎を協会で、応用を士会で推進していくという事項があげられていた。
- 14) 認知症地域支援推進部：吉田理事より欠席であったが、以下の報告があった。
2月19日 お城 de カフェ OT2名参加
2月21日 若年のつどい上尾 OT3名参加
2月27日 武里オレンジカフェ OT1名参加
3月5日 「中核症状の理解と日常生活における工夫」39名参加
- Zoom 研修
3月18日 「BPSD の理解を深めて支援につなげる」
60名参加予定
- 15) 災害対策部：阪井理事より以下の報告があった。
埼玉県災害リハビリテーション：2月26日からスタートする。
各圏域で市町村に声掛けを行い、行政も巻き込んで実施している。
グループワークも盛り上がり、リハビリテーション職への期待感を持ってもらえた市町村もあった。次年度も継続的に進めていく
- 2月13日 災害リハ協議の場の打ち合わせ
2月26日 災害リハ協議の場：戸田中央病院
3月2日 災害リハ協議の場：上尾中央総合病院
3月4日 災害リハ協議の場：加須市民プラザ
3月6日 災害リハ協議の場：圏央所沢病院
<予定>
3月16日 災害リハ協議の場：秩父宮記念市民会館
3月26日 災害リハ協議の場：東松山総合会館
3月31日 災害リハ協議の場：ZOOM（東部圏域）
- 16) 制度対策部：江原理事より以下の報告があった。
令和8年度診療報酬改定情報・「看護・多職種協働加算」に関する作業療法士の病棟業務について電子掲示板にあげたため、確認頂きたい。

17) 各ブロック

東部ブロック：内藤理事より以下の報告があった。

日時：2026年3月17日（火） 18:30～20:00

【作業療法学生のための 臨床実習&就職前相談会】

形式：ZOOMによるオンライン研修

費用：無料

内容：実習や就職前の疑問・不安についての相談、作業療法に関する質問など

*学生への広報を依頼したい。

西部ブロック：種澤理事より以下の報告があった。

2月20日 今夜はみんなで語らNight！ 参加者：40名（リモート開催）

3月3日 西部ブロック定例会

3月23日 語らNight運営ミーティング

南部ブロック：犬塚理事より以下の報告があった。

今年度の事業は、滞りなく実施できた。

2月9日 ブロック長会議を実施した。

3月10日 南部ブロック座談会を開催した。

○ブロック長会議内容

先日ブロック長会議で、地域でセミナー等の講師や、イベント等での講演をした際に使用した資料を、会員専用ページで共有できて、それを会員同士自由に閲覧したり、使用できたりしたら、とてもメリットになるのではないかと話が出た。

それを形にしていく為に、例えば①資料掲載をチェックする方への報酬、②会員専用ページの管理部門の人件費、③資料提供者への謝礼などに繰越金の一部を使うのはいかがか。

北部ブロック：桑原理事より以下の報告があった。

月1回の定例会を実施している。3月30日 北部ブロック会議予定

ショッピングモールでの啓蒙活動実施予定している。

2027年度埼玉県作業療法学会準備も開始している。

18) 訪問リハビリテーション振興委員会：加藤理事は欠席であるが、以下の報告があった。

3月8日 訪問OT専門研修

講師：戸田竜也氏（一般社団法人SCRAP&BUILD）

テーマ：”精神疾患は難しい”の正体を問うー精神科訪問支援の実践から

19) 生活行為向上マネジメント推進委員会：高橋啓吾理事より、以下の報告があった。

3月24日 MTDLPとコラボ研修実施予定。

20) 子ども支援委員会：佐々木理事より以下の報告があった。

3月8日に「特別支援教育に携わる県内OTの実践報告と情報交換会を開催」。参加者19名。

3月12日（木）第2回埼玉県障害者地域支援協議会に参加。

21) 福祉機器委員会：鈴木康子理事より報告事項なし。

- 22) 高次脳機能障害地域支援推進委員会：渡部理事より以下の報告があった。
2026年2月21日（土）14：00～15：30 東上パールビルディングにて令和7年度高次脳機能障害の方々を支援する医療と福祉のエリアミーティングを開催した。参加者は講師を含めて川越市、その近郊より27名の方が参加。医療と障害福祉の地域連携に向けたミーティングとなった。アンケート結果も内容に対して概ね良いものが多かった。来年度以降も開催に向けて準備していきたい。
- 23) 運転再開支援委員会：赤間理事より報告事項なし。
- 24) こころとくらしの地域支援推進委員会：原理事より以下の報告があった。
2026年2月28日こころ委員会主催『矯正施設における作業療法のこれまでとこれから一川越少年刑務所での実践報告と先駆者に学ぶ歩みと今後の展望』を開催。参加者38名
3月5日こころ会議実施
3月9日19：00～司法領域士会情報交換会に出席。川越少年刑務所での取り組みについて発表した。
2月18日、25日川越少年刑務所福祉支援課程作業療法プログラム参加。
- 25) 第35回埼玉県作業療法学会：小池理事より以下の報告があった。
演題募集期間延長（～2026年3月1日まで）
現在：41件 エントリーサポート：6件 査読開始。
第35回埼玉県作業療法学会 開催日：2026年7月12日（日）
会場：目白大学 学会長：花房謙一（目白大学）
- 26) 埼玉県リハビリ専門職協会・コミュニティネットワーク川越：宇田会長より報告事項なし。
- 27) 倫理委員会：伊藤理事より以下の報告があった。
2月20日OT協会情報交換会に伊藤副会長が参加した

2. 会長・副会長より

1) 宇田会長より

年度末の慌ただしい時期になりました。みなさん大変だと思います。そんな中、埼玉の作業療法のために日々ご尽力をいただき心より感謝申し上げます。どうしようもなく忙しくて自分は何をやってるんだろうと迷ったとき、みなさんは対象者のこと、生徒のことを考えるのだらうと思います。それでもどうにもならないときは、同じ苦勞をしながら同じ方向を見定めている士会の仲間を思い浮かべていることでしょうか。私の患者さんにもよく言うことですが、困ったときは堂々と仲間を頼りましょう。それができるのが埼玉県士会の最大の強みだと思っています。

<2月報告>

- 5日 ここくら会議
- 9日 リハ三団体連絡協議会
- 12日 理事会
- 19日 医師会地域包括ケアシステム研修
- 28日 ここくら研修会（川越少年刑務所関連）

<3月予定>

- 5日 ここくら会議
- 9日 リハ専協会理事会
- 11日 上尾中央医療専門学校卒業式
- 12日 理事会
- 19日 お城 de カフェ
- 21日 若年性認知症本人と介護者のつどい越谷
- 25日 川越少年刑務所

2) 平田副会長

地域で領域を超えて横軸を通していく話が出ている。埼玉県士会ではコラボ研修など行っており、協力しながら進めていきましょう。

3. 監事より

1) 西田監事より

活発な意見交換がなされたと思う。

議論を重ねていくことで明確に提示できるようになると感じた。

III. その他

次回理事会：2026年 4月9日（木） オンライン会議

以上をもって議案の全部を終了したので、議長は21時10分閉会を宣した。

2026年3月12日

一般社団法人埼玉県作業療法士会 理事会